学校番号	2004

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・乳幼児・子どもの発達の特性や発達過程を理解し、実習を通して保育に関する技術を習得させる。また、子育てを取り巻く環境についての現状を認識させ問題点を探らせ、子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
・プリント学習やグループ討論などを通じて、「聞く→考える→伝える」力を養う。

2　学習の到達目標

（1）子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけるようにする。子どもと触れ合ったり、幼児食や子どものおもちゃを作ることにより、子どもの発達に対応した基本的な知識や技術を身につける。
（2）子どもを生み育てることや、家庭での役割、時代に合った子育てについての課題を見出すこと、また、近年問題になっている幼児虐待や幼児の事故などについても考えさせ、どうしたら防げるかなど、深く考える力を養う。
（3）子どもの発達と保育について、関心を持ち、子育ての大切さ、大変さなどを理解できるように様々なことを考え、積極的に子育てにかかわろうとする意欲と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	乳幼児の身体の特徴や発達段階による特徴を理解するとともに、子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解し、親として子どもと共に育つために必要な知識を身に付けている。 子どもの発達と生活、子どもの福祉などについても理解している。 子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもを生み育てることや、子どもの発達を支える親・家族の役割や、地域や社会の子育て支援について認識させ、課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して、意欲を持って学習活動に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	子どもの発達の特性	○発達と乳幼児期の意義 ・子どもの発達 ・乳幼児期の特徴 ○発達と保育環境 ・発達と保育環境のかかわり ・保育環境を整える ○児童観と発達観 ・児童観・発達観とは ・今日の児童観・発達観	a：乳幼児期が人間の発達の基礎を培う重要な時期であることを理解している。乳幼児を取り巻く環境の重要性について理解している。乳幼児期に適した衣食住について、情報を収集し整理し、適切な生活の計画ができる。 b：現代における発達観を踏まえて、自分自身が現在どのような児童観･発達観を持っているのか、客観的に分析して考察できる。 c：子どもの発達について、興味･関心を持ち、特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。	テスト	テスト 課題提出	 課題提出
	子どもの発達の過程	○子どもの発達 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 （ 沐浴実習 ） ・発達の評価 ○子どもの精神発達 ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達 ・言葉の発達 ・情緒の発達 ○人間関係の発達 ・愛着関係の形成 ・人間関係の広がり ・子どもの人格形成	a：乳幼児の発育･発達を支配する因子を理解し、発達の順序性や方向性について具体例を挙げながら説明することができる。 b：子どもの発達には人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c：発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心を持ち、理解しようとしている。	テスト	テスト 課題提出	 課題提出
後期	子どもの生活	○生活と養護 ・生活と健康 ･栄養と食事 ･食習慣の形成 （ 幼児食実習 ） ･衣生活と育児用品 ○生活習慣の形成 ･生活習慣の意義 ･基本的生活習慣 ･社会的生活習慣 ○健康管理と事故防止 ･日常の健康管理 ･病気の看病と予防 ･事故防止と応急処置	a：子どもの生活習慣について理解し、保育について必要な知識を身に付けている。子どもと適切に関わることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 b：子どもの生活の健康や安全面などに関して家庭や地域の中から課題を見つけ、その解決策を考えている。 c：子どもの生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	テスト 作品提出 実習参加	テスト 課題提出	課題提出 実習参加態度の観察 振り返りシート

	子どもの保育	○保育の意義と重要性 ・保育とは ・人間形成と保育 ○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育 ○保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント （　保育実習　）	a: 子どもの保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。発達の観点から、子どもの行動などを見て、特有の行動パターンや感情表出などを推察して子どもの行動を理解し、子どもとの関わり方に生かすことができる。 b: 子どもの成長には家庭保育や集団保育が重要であることを理解し、その関わり方について考察している。 c: 子どもの保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	テスト 実習参加	テスト 課題提出	課題提出 実習参加態度の観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度